オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V401SHからは操作できません。一般電話からの操作は「サービスガイドブック」をご覧ください。
- ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。
- ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。（☞P.13-4）
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスを設定しているときは除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.13-6）
運転中モード	お客さまが自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、相手の方にアナウンスでご案内します。（☞P.13-9）
割込通話サービス	今までお話ししていた相手の方との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。（☞P.13-10）
三者通話サービス	２人での通話中に、もう１人に電話をかけ、３人同時に通話することができます。また、相手の方を切り替えながらの通話もできます。（☞P.13-11）
発信者番号通知サービス	お客さまの電話番号を相手の方に通知したり、かけてきた相手の方の電話番号を確認することができます。

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	－	－	－
留守番電話サービス	－	お申し込みが必要	お申し込みが必要
運転中モード	ご利用になれません	－	－
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

－：お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

13 オプションサービス

転送電話サービス

転送先の電話番号を登録する

1 ⒻⓆ7Ⓐ1Ⓐ2の順に押す。

転送先電話番号の入力画面が表示されます。

2 転送先の電話番号を入力し、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、登録された転送先電話番号が表示されます。

表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

●転送先を携帯電話や自動車電話にする場合は、電話番号全桁を入力してください。一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

補足

転送先として登録できない電話番号

● 「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
● 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
● 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

1 ⒻⓆ7Ⓐ1Ⓐ1の順に押す。

2 「1あり」（着信音を鳴らす）または「2なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、「テンソウサービスON」と表示されます。

表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

● 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

注意

●転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
●すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送電話サービスを停止する

1 ⒻⓆ7Ⓓ3の順に押す。

2 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、「ヒショサービスOFF」と表示されます。

表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

転送電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に通話キーを押すとそのまま通話できます。

●転送時の着信音を「なし」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

転送電話サービスの設定状況の確認

1 ⒻⓆ7Ⓖ4の順に押す。

2 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

●転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況が表示されます。

3 PWRを押す。

●待受画面に戻ります。

留守番電話サービス

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 F 7 2の順に押す。

2 「❶あり」（着信音を鳴らす）または「❷なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Fを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、「ルスバンサービスON」と表示されます。

表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- 「❷なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間にを押すとそのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「なし」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービスの機能

■留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります。（詳しくは、「サービスガイドブック」をご覧ください。）

留守番電話サービス停止時

■着信中に、F PWRの順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）

■留守番電話センターに転送できなかったときは、「ご利用になれません」と表示され、着信中の画面に戻ります。

■サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-4）を「❸留守電センター転送」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、留守番電話センターに転送されます。

留守番電話サービスを停止する

1 F 7 3の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Fを押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、「ヒショサービスOFF」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、次の操作を行うと「1416」が表示されます。

- 電話をかけたとき
- 電話がかかってきたとき
- 通話を終了したとき
- 電波の届く所で電源を入れたとき
- 一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合は数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です。）

1 F 7 7の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Fを押す。

留守番電話センターに接続され、「通話中」と表示されます。

- 以降は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作してください。

3 PWRを押す。

待受画面に戻ります。

- 「1416」はV401SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 F 7 4の順に押す。

2 「❶YES」を選び、Fを押す。

- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスの設定状況が表示されます。

3 PWRを押す。

- 待受画面に戻ります。